

## 首都圏反原発連合で呼びかけている総理大臣官邸前抗議行動について

### 1. 首相官邸前抗議の目的と経緯

首都圏反原発連合では、拙速な大飯原発再稼働をもくろむ政府の政治決定を阻止すべく、閣僚会合が行われる総理大臣官邸前で直接的な抗議を実施してきました。官邸前抗議は、他団体や個人によっても行われていますが、私たちは、より多くの人々が参加できるよう、「安全で、**再稼働反対を訴えたい人であればだれでも参加できる器づくり**」を念頭に、一般の人々が参加しやすい雰囲気づくりや参加しやすい時間帯など思考錯誤を重ねて取り組んできました。

経済産業省で行われた原子力保安員による数回の「ストレステスト聴取会」を経て、2012年3月下旬、再稼働に向けた最終プロセスである「政治的判断」が四閣僚により行われることになりました。それを受け、首都圏反原発連合では「首相官邸前での抗議行動」が提案されました。このときは緊急だったため、すべての参加グループの合意をとる十分な時間がなく、抗議を提案した NO NUKES MORE HEARTS と、これまで経産省での抗議行動の呼びかけを続けてきた TwitNoNukes のふたつのグループの呼びかけという形で、3月29日に首相官邸前抗議を行いました。実際の運営は首都圏反原発連合の有志で行ったため、これを第一回目として考えています。このときの抗議参加者はおよそ300人でした。その後、首都圏反原発連合内で合意形成し、4月6日の第二回からは「首都圏反原発連合有志」の呼びかけとして、現在までほぼ毎週金曜日に抗議行動を行ってきました。

抗議行動の参加者は、当初の300人から、1000人、2700人、4000人、1万2000人と、回を追うごとに増え、前回6月22日（金）は4万5000人となりました。**とりわけ、6月16日（土）、野田首相が「大飯原発3、4号機の再起動を政府の最終的な判断とする」と発表したことで、国民の怒りは頂点に達し、私たちの呼びかけは、当初のツイッター等のSNSを中心としたものを超えて多くの人々に拡がり始めた**と実感しています。私たち関東に住む人間ができる行動として、中枢に直接抗議し圧力をかけることは最大限の効果があると確信し、再稼働の実施が決まった現在もなお、国民の意志である「決定撤回」を求め、さらなる人々の参加を呼びかけ、その実現に向けて抗議活動を続けていきます。

## 2. 抗議について

「大飯原発の再稼働反対」について、ご自分の声で直接訴えたいことがある人には、官邸にいちばん近い場所でマイクをお渡ししています。自身の状況を話す人、野田首相に語りかける人、閣僚や安全委員会などへの批判を語る人、シュプレヒコールだけをしたい人、アピールの仕方はさまざまです。現在は希望者が増えているので時間を区切らせていただき、また、組織や団体のアピールはご遠慮いただき個人として抗議していただくこと、などいくつかのルールを設けています。

## 3. 参加者について

参加している人々は、これまで積極的にデモや抗議に参加していた人々ばかりではなく、**ふだんデモなどに参加したことのないような主婦の方、子ども、学生、勤め人などが圧倒的に多く、各界の著名人も多く参加しています。また、この一回わずか2時間の抗議のために、地方からわざわざ官邸前へ駆けつける人もいます。主催者を含め、特定の政治的主張や思想にとらわれない一般の市民が、いままでの社会運動にありがちだった組織動員とは違い、個人の意思で参加し抗議を行っています。**首都圏反原発連合のメンバーも、2011年3月11日より以前から社会運動に関わっていた者は少なく、それぞれが3.11を契機に思い思いのやり方で、市民によるデモを実施、参加してきました。**私たち自身が、ふつうの市民の感覚で「だれでも参加しやすい抗議の場」を作り上げることを心がけています。**

## 4. 準備や告知について

現場での音響設備（マイクや拡声器）設置、参加者の誘導、当日の運営など準備から片付けにいたるまで、活動はすべて首都圏反原発連合のスタッフと協力を申し出てくださいる市民の方たちのボランティアで行っています。子どもからお年寄りまで参加するため、安全性や通路の確保にはとくに気を付けています。

告知は、合議により次回開催を決定しだい開始します。私たち自身の告知は、各スタッフや参加グループのツイッターアカウントと当連合のウェブサイト

(<http://coalitionagainstnukes.jp/?p=623>)からの発信になりますが、そこからさまざまな形で情報の拡散をしていただいています。それはツイッターなどのSNSばかりでなく、自主的に手配りチラシを作り街頭で配ってくださいる人、口コミで同僚やご家族、友人を誘ってくださいる人など、まさに草の根的な運動としての広がりを感じています。

## 5. 今後の活動について

6月29日(金)にも首相官邸前抗議を予定しています。

### 「6.29 緊急！大飯原発再稼働決定を撤回せよ！首相官邸前抗議」

日時：6月29日(金)18:00-20:00(予定)

場所：総理大臣官邸前(国会記者会館前、国会議事堂前駅3番出口が最寄ですが、大変混雑しますので、2番、4番の出口のほか、溜池山王、虎ノ門、霞ヶ関、永田町駅などでの下車もおすすめします)

呼びかけ：首都圏反原発連合有志 <http://coalitionagainstnukes.jp/?p=623>

※これ以降は、状況を見ながら実施していきます。

### 「7.16 さようなら原発 10万人集会(代々木公園)」

主催：さようなら原発 1000万人アクション実行委員会

日時：7月16(月・海の日) 12:15～

会場：東京・代々木公園B地区全体(サッカー場、イベント広場、ケヤキ並木周辺)

※首都圏反原発連合は第4ステージ企画(11:00～13:30)とデモ参加(14:00～)協力

<http://sayonara-nukes.org/>

### 「7.29 脱原発国会大包围」

主催：首都圏反原発連合

日時：7月29日(日) 日比谷公園中幸門 集合 15:30 デモ出発 16:30

国会包围/集会 19:00

会場：日比谷公園中幸門から脱原発巨大でも実施後、国会をキャンドルで包围。

集会を実施。

[http://coalitionagainstnukes.jp/?page\\_id=648](http://coalitionagainstnukes.jp/?page_id=648)

## 6. 首都圏反原発連合について

首都圏反原発連合(Metropolitan Coalition Against Nukes <http://coalitionagainstnukes.jp/>)は、首都圏でデモなどを主催しているグループや個人が連携し、力を合わせようと、2011年9月に立ち上がったネットワーク(連絡網)です。団体ではなく代表も存在しません。最初の取り組みとして10月22日にアメリカの「反核連合」の集会と連帯して、「Rally for a Nuke-Free World in JAPAN」(集会&デモ)を開催しました。2012年1月14日には、パシフィコ横浜で開催された「脱原発世界会議 2012 YOKOHAMA」に連動したデモ「脱原発世界大行進 in 横浜」を行い、約4500名の方々が参加しました。そして、3.11から一年となった2012年3月11日には、デモと国会議事堂を

追悼と抗議のキャンドルで包囲するアクション「3.11 東京大行進 - 追悼と脱原発への誓いを新たに-」を開催し、約1万4000名の方々が参加しました。2012年4月からは大飯原発再稼働問題に対して首相官邸前で直接抗議行動を呼びかけ、当初の参加者は300人程度でしたが、6月22日には4万5000人が抗議に参加しました。今後も国内外の様々なグループや個人と連帯し、脱原発を目指します。

**<参加グループ> Act 311 Japan / 安心安全な未来をこどもたちにオーケストラ / 「怒りのドラムデモ」実行委員会 / エネルギーシフトパレード / 「原発やめろデモ!!!!」関係個人有志 / くにたちデモンストレーションやろう会 / 「脱原発杉並」有志 / たんぼぼ舎 / TwitNoNukes / NO NUKES MORE HEARTS / パパママぼくの脱原発ウォーク / 野菜にも一言いわせて！原発さよならデモ / LOFT PROJECT / 他個人有志**

**(登壇者)**

**Misao Redwolf: 首都圏反原発連合、NO NUKES MORE HEARTS 主宰**

**平野太一: 首都圏反原発連合、TwitNoNukes 呼びかけ人**

**(問い合わせ先)**

**Eメール: [info@coalitionagainstnukes.jp](mailto:info@coalitionagainstnukes.jp)**

**<http://coalitionagainstnukes.jp/>**

**(ご参考)【首相官邸前抗議の経緯詳細】**

大飯原発再稼働の安全性を確認するという名目のストレステスト意見聴取会は、安全性への疑問に対する答えを出さぬまま、2012年3月に終了、それを受け、首相と三閣僚による四閣僚会合で、政治判断による再稼働の決定がなされると発表されたため、首都圏反原発連合は、閣僚会合の行われる首相官邸前で、有志による直接抗議をしていくことを決めました。3月29日(木)に初めて首相官邸前抗議を実施、その後閣僚会合に合わせた抗議活動を実施すべく、4月6日(金)、13日(金)、20日(金)、27日(金)、5月12日(土)、27日(金)、18日(金)、25日(金)、6月1日(金)、8日(金)、15日(金)、22日(金)に首相官邸前抗議を実施してきました(閣僚会議の初会合が開催された4月3日(火)は悪天候で中止)。

当初、毎週金曜日18:00から20:00の実施を固定していたわけではなく、あくまで閣僚会合に合わせて毎回実施するかどうかを判断してきましたが、参加者が仕事帰りに参加しやすいこと、政治日程の特徴として週の終わりに決定がなされることが多いことから、自然に毎週金曜日夜に実施ということとなりました。